

## 議 事 録

会議の名称	令和7年度第2回岩倉市環境審議会
開催日時	令和8年1月19日（月）午後2時から午後3時40分まで
開催場所	市役所7階 会議室7
出席者 （欠席委員・説明者）	出席委員：千頭会長、賀田野委員、川田委員、寺澤委員、大井委員、 山内委員、関戸委員、三輪委員、若園委員、花井委員、大矢委員  欠席委員：岸委員  説 明 者：市民協働部長、環境政策課長、清掃事務所長、 さくら・川・環境グループ主任
会議の議題	1 あいさつ 2 議題 （1）審議事項 岩倉市生活排水処理基本計画について （2）報告事項 ア 燃やすごみ袋の名称変更について イ 五条川自然再生整備等基本計画の進捗等の報告について ウ ゼロカーボンシティ推進に向けた取組について エ 協定（バイウィル&愛知銀行、バイウィル&大垣共立銀行）について 3 その他
議事録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 <input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> その他
記載内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の委員長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
会議に提出された資料の名称	・次第 ・岩倉市環境審議会委員名簿 ・岩倉市生活排水処理基本計画（案）〔資料1〕 ・燃やすごみの名称変更について〔資料2〕 ・五条川自然再生整備等基本計画の施策進捗状況一覧〔資料3〕 ・令和7年度ゼロカーボンシティ推進に係る取組について〔資料4〕 ・「ゼロカーボンシティの実現に向けた取組みに関する連携協定」について〔資料5〕
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	0人
その他の事項	無し

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 あいさつ

千頭会長からあいさつ

2 議題

（１）審議事項

岩倉市生活排水処理基本計画について環境政策課から説明。

関戸委員：下水道が使えるようになった地域の住民に対し下水道への接続を案内しているが、合併処理浄化槽と比較して処理能力はどうか。

事務局：同程度である。

関戸委員：新築で浄化槽を設置している家庭の方にとっては気の毒である。

事務局：法律上、下水道接続の義務はあるが、罰則もなく費用もかかるので、すぐに納得いたでない方もいる。

川田委員：下水道に接続すると水道料金は倍くらいになるのか。

事務局：過去には 1.8 倍程度と言われていたが、料金改定により現在は約 2 倍程度である。浄化槽は点検などのメンテナンスが必要であるため、費用感を比較するのは困難である。

花井委員：他の自治体で補助金制度はあるか。

千頭会長：下水道への接続率を高めるために補助金制度がある自治体はある。

事務局：岩倉市においては、接続のための補助金はない。銀行から接続費用の融資を受ける際の利子分を補助することはある。

千頭会長：他の自治体では時折補助金制度を新設するといった話題も出るが、その前に接続した人の気持ちを考えると難しい。

賀田野委員：廃食用油について、ペットボトルに入れて e-ライフプラザへ持っていくことが大変なので、分別収集してもらえないのか。

事務局：分別収集は地区の方の協力により実施できている。油のためこぼれると片付けが手間であり、今以上に地区の方の負担を増やすことは難しい。来年度から市役所でも回収することを検討している。

賀田野委員：水洗化率は年度によってばらつきがあるが、高い方が良いのか。

事務局：高い方が良い。ただし、面整備を随時行っており、整備直後には対象世帯数（分母）が増えることにより水洗化率が下がるため、増減がある。

千頭会長：11 ページの表に注釈があったほうが良い。

事務局：3 ページに記載している説明を 11 ページにも記載する。

大井委員：12 ページにある公共下水道の整備状況について、面積で記載しているが場所を記載してはどうか。家を新築する方はそういった情報も確認したいのではないか。

事務局：上下水道課で確認することができる。

大井委員：名草線沿いの「餃子の王将」周辺の側溝の臭いが気になる。

千頭会長：担当課として対応を検討してほしい。

関戸委員：他にも同様の地点はあると感じる。

千頭会長：12 ページに単独処理浄化槽が令和 3 年度から 4 年度にかけて 30 基増えているのはなぜか。

事務局：浄化槽は県で管理している。台帳の精査を行ったことによるものである。

千頭会長：14 ページに無りん洗剤とある。以前は海域の赤潮などの影響を防止するため、りんの排出抑制や下水処理場での高度処理を進めていたが、現在はその状況もかわりつつある。

千頭会長：以上を本審議会の意見とし、本計画（案）を承認してよいか。

一同：了承

## （２）報告事項

ア 燃やすごみ袋の名称変更について環境政策課から説明。

千頭会長：燃やすしかないごみ袋には何が入られる想定か。

事務局：ティッシュなど資源として再利用できないものだけが入られることを想定している。生ごみも想定されるが、コンポストで堆肥化してほしいと考えている。

千頭会長：他の自治体では生ごみを分別して再資源化しているところもある。現在の岩倉市の市民感覚では生ごみを入れる人が多いのではないか。生ごみは本来燃やすしかないごみではないことを周知してほしい。

事務局：今年度から段ボールコンポストの推奨を開始し、30 基を無償配布した。また、市ホームページで段ボールコンポストの作り方や実際に使用した方の感想などを掲載している。引き続き生ごみを堆肥化してもらえよう啓発していく。

千頭会長：庭がない方や、堆肥の使い道がない方に対しては分解型を案内することもできる。

川田委員：学校でも敷地の片隅にコンポストを設置しているところがあるが、臭いはどうか。

事務局：状況によるが、やり方を工夫すれば気にならない程度である。

花井委員：ごみ袋の金額は変わるのか。

事務局：名称変更による変更はないが、原材料の高騰による変更の可能性はある。

千頭会長：ごみ袋を１袋処理するのに税金がどのくらい使われているのか周知するため、ごみ袋に記載してはどうか。

イ 五条川自然再生整備等基本計画の進捗等の報告について環境政策課から説明。

三輪委員：今年度の五条川下流部の清掃イベントに参加した。ゲーム性もあり参加者にとってもよかったと感じた。

千頭会長：2 ページの桜の補植に関する内容について記載がある。原則、川沿いには新たに桜を植えることはできないとされているが、市民が愛着を抱いている五条川の桜を維持するため、市が管理者である県に交渉を重ねてなんとか修繕という整理によりジンダイアケボノが補植できている。他の川では認められないところもあるのではないか。

花井委員：クビアカツヤカミキリについては、早期発見・対策が重要であるため、市民を含めてたくさんの方の協力をお願いしたい。

三輪委員：五条川沿いを散歩する際は、気にするようにしている。

事務局：現在はクビアカツヤカミキリが活動していない季節であるため、春ごろに改めて市民等へ協力を依頼していく予定である。

ウ ゼロカーボンシティ推進に向けた取組について環境政策課から説明。

エ 協定（バイウィル&愛知銀行、バイウィル&大垣共立銀行）について環境政策課から説明。

千頭会長：バイウィルが J-クレジットを創出することは、岩倉市地球温暖化対策実行計画（事務

事業編)におけるカウントと重複しないのか。

事務局：問題ないことを確認している。

川田委員：J-クレジットはどのくらいの売上を見込んでいるのか。

事務局：現在、手続きを進めている段階であり、今後も還元率の変動が見込まれるため、あくまでも参考程度であるが、年額8万円から10万円程度と聞いている。

山内委員：いわくらゼロカーボン事業者認証制度の要件に入れてはどうか。

事務局：検討する。

### 3 その他

- ・任期は令和8年4月30日までである。令和8年度は10月頃に開催を予定している。